

# こぶしだより

1995年11月30日(木)  
発行 第186号  
こぶし作業所  
宇都宮市柳田町1401  
☎0286(62)1911

## 家族旅行

いってさきました!



今年の家族旅行は、11月1日・2日に、鬼怒川温泉・日光江戸村へ行ってきました。1日目は各作業所を9時半頃出発し、11時過ぎに那須野ヶ原公園で合流しました。公園では売店がうご

ろを注目する人やベンチで談笑する人や公園内を散策したりする人など過ごし方は様々でした。が、11月にしては暖かい日差しを浴びていました。お弁当を食べて那須野ヶ原公園を出発し鬼怒川温泉へと向かいました。途中の日塩もみじラインはその名前の通り紅葉が丁度見ごろできれいでした。道端で売っている高層野菜を買うために立ち寄り、下車や茶屋で休憩する車、龍王峡の売店に立ち寄る車(今年には具福社バス、マイクロボス3台の合計4台で行きました)などありました。が全車無事に宿泊場所である鬼怒川観光ホテル別館に到着しました。各自部屋でくつろいだり入浴したりと夕食までの時間を過ご

しました。待望の夕食の時間が来てどのような料理が出るのかと楽しみに宴会場へ足を運びました。その期待を裏切

## 江戸村をのんびり歩く仲間たち



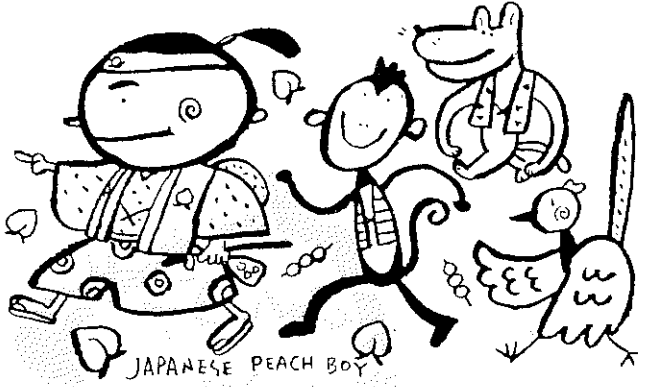
福祉法人 ぶしの会 御

らない位の立派な料理でどれから箸をきりていいのかわ迷う程でした。宴も進みカラオケの時間になりました。最初は遠慮気味でしたが徐々に本領を発揮してきて歌う希望者が多くなり宴会時間が延長してしまいました。

最後に2つの重大発表がありました。1日目は朝食をすませた後、2日目は朝食をすませた後は、けやき作業所からホテルを出発し日光江戸村へ向かい

ました。江戸村では各アトラクションを見物し昼食はお刈り場焼きを食べました。おもしろか、たのもう一度江戸村に来てみたいという声がかれました。

江戸村を千後2時過ぎに出発し各作業所には夕方到着しました。今回の旅行は栃木県内で近かつたため時間的にゆっくりと過ごせ、また参加者が多く良かったです。来年の旅行が楽しみにになりました。(田島)



JAPANESE PEACH BOY

所長もうれしやう...

## 今年も出店!! 芳賀町民祭

去る11月11日(土) 12日(日)の2日間、芳賀町民祭が芳賀町役場駐車場にて、盛大に開催されました。もちろん、けやき作業所も保護者会、後援会の協力で出店参加しました。保護者会は、もうおなじみの、おふくろの味店、赤飯や五目ご飯、おでんやとん汁、草だんご、全て手作り品の品物。後援会にはバザーで出店しました。おまけに、こぶし作業所仲間自治会がカレンダー販売を特別参加していました。

オ1日目、お昼過ぎ、木柵し一番に見舞われるという障害者もありましたが、二日間保護者会、後援会と合わせ、50万円を越える売り上げを得る事ができました。皆様も職員も労働者として、共通の立場に立ち、働くことが生きる喜びにつながり、人間として豊かになるのが保護者(家族)、職員、ボランティア、地域住民が力をあわせて作る作業所、以上の合意を三つの基本理念として、こぶしの運動に確信と展望を持

てきました。今年1月、法人の長期経営計画が提出されました。これはみなさんの夢を集めたものでなく、ひとつ、ひとつ、実現させていくものです。みなさんの口マンをもつて、運動をすすめていきましょう...



(成田)



こぶし：編

10月6日(月) 坂ける様な青空のもと、こぶしの仲間たちは揃って、鬼怒川の橋の下に集合しました。

実は昨年引き続き、精神障害者、社会活動総合推進事業の一環として、清掃作業を行う為のものなのです。昨年は緑地公園の清掃でしたが、今回はいつも散歩に来てお世話になっている河原をきれいに



にしようということになりました。ビニール袋を手に持ち、たりたり歩行機や車椅子に縛りつけたりして、約1時間半。空缶、空ビン、釣糸、ビニール袋、くず鉄や車のシートまで多種多様なゴミが集められました。

自分だけが良ければいい、そんな思いが積み重なった姿なのだろうか。自然を大切に良く耳にし口にもしますが、こうした身近なところから一人ひとりの心がけが大切なのではないかと感させられた一時でした。



けやき：編

仲間の会話

町民祭には仲間も手伝ってくれた。Mさん

「町民祭だっしかり、金庫番だっしかり、指導員だっしかり、え、みんなはなんやア、そうだね、そうです、町民祭の2日間、彼女は売り上げ金を入れた箱の前で、しっかりと腰をふちつけてくれたのでした。ごくろう様でした。」

村おねわ協力街

こぶし作業所まで

働く仲間のための

カレンダー

特別価格

1,200円

12がっスケジュール

2日(土) 休所日  
3日(日) 休所日

9日(土) 日曜作業所

AM. 買物訓練  
PM. 障害者の日

10日(日) 休所日

14日(木) 15日(金) カルピスとちぎ95

16日(土) 職員会議

17日(日) 休所日

23日(土) クリスマス会・忘年会

24日(日) 休所日

28日(木) 年末年始

29日(金) 休所日

30日(土) 休所日

31日(日) 休所日

1/4まで



みんなで大地

「ぼくらはみんな生きてる。アメンボウだって...」という歌をこぶしの皆は好きだ。この歌に出でくるのは、みんな小動物ばかり。たぶん、体の大きな動物がこの歌をつくったのかも、れない。

民主というのには、その集団を構成する一人ひとりが、主人公になるという事で、特に「こぶし」の場合には、仲間たるを主人公に据えるという事をオーストラリアに追求していくことを理念としている事はよくスローガン的には掲げられるが、本当に、むずかしい。仲間が主人公、具体化の自治会であるが、その自治会がA君は今年仲間たちのボーンナス財源の大きな収入の一つである。カレンジャー販売の役員をおた。昨年末ではひと倍かんばつたのだが、その訳は簡単に自分一人を頼るの馬鹿らしい。という事である。事実、売上げの大きな部分をしめる彼のかせまが、みんなのボーンナスになつていく事で、その事にはとても我慢

かならない事らしい。そして一人ひとりが、と力をだし、頑張つて欲しい。と思う事は当然だと思ふ。職員でA君を説得できる人はいらぬだろうか、それこそこぶし全体の大きなテーマになつていくのかもしれない。この大地には、ライオンもかたつむりもいる。これほどうにもしよつのない事がある。しかし、現実には、ライオンはかたつむりをおでこに乗せて散歩はしない。知らないうらにふみつぶしている。ともに生きること(女王)のオーストラリアは今、気がつき始めたという段階だ。(鬼やんま)